

第1回 吹田市政策会議開催結果について

日時:平成29年4月24日(月)15時00分～16時00分

場所:特別会議室(本庁舎高層棟4階)

政策会議構成員9名の出席

(市長、春藤副市長、池田副市長、総務部長、行政経営部長、市民部長、学校教育部長、地域教育部長、都市魅力部長)

○案 件 名	○担当及び関連する部局名
市立吹田サッカースタジアムにおけるネーミングライツ導入に向けた「(仮称)スポーツ推進基金」の設置について	都市魅力部(文化スポーツ推進室)
○審議内容と結果	
【案件概要】 市立吹田サッカースタジアムにおけるネーミングライツ導入に向け、吹田市積立基金条例の一部を改正し、「(仮称)スポーツ推進基金」を新設するものです。 この基金は、ネーミングライツで得た対価を積み立て、スポーツの推進を図り、まちの活性化や市の魅力向上に資することを目的として、同スタジアムの利用促進及びガンバ大阪のホームタウン関連施策の推進、また、市立スポーツ施設及びその環境の整備に活用しようとするものです。	
【所管部の考え方】 新たな自主財源の確保策として、民間の資源やノウハウを活用することで、スポーツの推進を図り、まちの活性化や市の魅力向上につなげるため、国際試合開催が可能な4万人収容の市立吹田サッカースタジアムにおいて、ネーミングライツを実施することが必要であると考えます。 また、その対価を同スタジアムの利用促進及びガンバ大阪のホームタウン関連施策の推進や市立スポーツ施設及びその環境の整備に活用するために基金に積み立て、管理していく必要があると考えます。	
【審議事項】 市立吹田サッカースタジアムにおけるネーミングライツの導入に向けて、「(仮称)スポーツ推進基金」を新設することについて、御審議願うものです。 また、同スタジアムの利用促進及びガンバ大阪のホームタウン関連施策の推進や市立スポーツ施設及びその環境の整備に活用することで、スポーツの推進を図り、まちの活性化や市の魅力向上に資することを目的としてネーミングライツを導入することについて、御審議願うものです。	
【審議結果】 都市魅力部文化スポーツ推進室より、資料に基づき、審議事項について説明があり、その後質疑応答を行った。 質問・・・ネーミングライツを導入するメリットは何か。 回答・・・新たな財源を確保できることである。 質問・・・設置理由及び活用方法の項目について、スポーツ施設及びその環境の整備とあるが、それは指定管理者が行うことではないか。指定管理者の義務を市が代わりに負うということか。 回答・・・指定管理者の義務は、当該施設の維持補修である。周辺環境など新たな整備に対して基金を活用したいと考えている。 質問・・・ガンバ大阪と関連しない法人でも応募できるのか。 回答・・・関連しない法人でも応募できる。 質問・・・ネーミングライツの導入についての市民アンケート結果はどうだったか。 回答・・・66件回答があり、賛成回答は54件(82%)、反対回答は12件(18%)であった。意見として、名称に「吹田」を入れてほしい、財源は吹田市の為に使ってほしい、ネーミングライツパートナーはガンバ大阪のスポンサー企業がよい、などがあった。 指示・・・選考にあたって、公平公正の観点から、選考会議は部内でのみ行うのではなく、他部局も入れた方がよいのではないかと。 質問・・・命名権料は、来年度の当初予算に入れる予定か。 回答・・・今年度中に歳入がある為、今年度の補正予算に入れたいと考えている。 指示・・・適切なネーミングライツパートナーを選定するため、募集要項を作る際には応募資格について十分に考慮してほしい。 指示・・・設置理由及び活用方法の項目について、市民等に情報が伝わりにくい内容になっている。「ガンバ大阪」の名称を入れるなど検討を行うこと。 まとめ・・・本案件について、所管部の考え方は承認された。手続きを進めることとする。	